

東日本大震災体験アンケート報告集を発行

自治労銚子市役所職員労働組合 大網 裕 弥



私たち銚子市職労は自治研活動の一環として、市職員が東日本大震災当時に様々な場所で見たこと、聞いたことを記録に残す活動に昨春から取り組んできましたが、ようやくその報告集の発行に漕ぎつけることができ、関係各所に配布するに至りました。

何気ない会話からスタートしたこの活動も、開始当初はアンケートの回収率などについて心配していましたが、終わってみれば予想をはるかに超える反応に胸をなでおろしました。回答には、多くの実体験や貴重な意見等が含まれていましたが、大別すると防災対策や避難訓練の必要性、地域コミュニティの醸成、また私たち自治体に働く者に大きく関わってくる公務員としての義務などに集

中していました。また、「災害は忘れた頃にやってくる」などの言葉のように、自戒の念を込めた感想も多数見られました。

今回の報告集は写真等も少なく、単に回答者の思いを箇条書きしたような形となっています。しかし、この中にわずかでも将来に残すべき課題や提言があるとすれば、長期間にわたった活動も私たちは成果があったと考えています。

なお、本報告集は発行部数の関係で関連団体等にしか配布しておりませんが、今回、千葉県地方自治研究センターのHP (<http://chiba-jichiken.net/>) にも掲載していただきましたので、参考までにご一読いただければ幸いです。



語り継ぐために

～東日本大震災体験アンケート報告集～



自治労銚子市役所職員労働組合